



Special Interview
Hyodo Yuji
ひょうどう ゆうじ
兵頭 裕次さん

愛媛県 内子町
総務課 広報・広聴係長
平成12年に内子町に入庁。平成25年より広報を担当。歴代担当者の思いや地域住民とのつながりを大切にして、広報紙を制作している。

まちづくりの原点を見つめ、広報紙で一人でも幸せに、輝かせようと取り組む内子町。
人とつながること、つなげることを実践し、注目を集める広報担当者に伺いました。

1 トップを走る作り手の想い
「ふるさとの香りがする
広報紙を届けたい」

平成31年全国広報コンクールで2年連続の内閣総理大臣賞を受賞した作品

「広報うちこ」
2018年12月



「ふるさとの香りがする広報紙を届けたい」。広報うちこの歴代担当者が心掛けた、積み重ねてきた思いです。小さな町ですが、ここにあふれる魅力や笑顔を発信し、ここにしかない、ここでしか見られない「今」を届けることをモットーとしています。全国広報コンクールでは

広報紙に込める思い

「ふるさとの香りがする広報紙を届けたい」。広報うちこの歴代担当者が心掛けた、積み重ねてきた思いです。小さな町ですが、ここにあふれる魅力や笑顔を発信し、ここにしかない、ここでしか見られない「今」を届けることをモットーとしています。全国広報コンクールでは

町の概要

愛媛県のほぼ中央部に位置し、面積の約8割を山林が占めている山間の町。製蠟業などで栄えた美しい町並みが今も残り、町の中心部から少し足を伸ばすと、棚田や水車小屋など美しい里山の風景が広がっている。
面積 299.43km² 人口 15,700人 7,051世帯(令和4年3月末現在)
広報紙(全国広報コンクール受賞歴)
町民の多くが「広報うちこのためなら」と快く取材に応じてくれ、町民に愛される「ふるさとの香りがする広報紙」を作り続けている。
内閣総理大臣賞2回(平成30年・31年)、入選11回受賞(特選4回含む)

うちこまち
愛媛県内子町

平成27年から8年連続で入選していますが、応募作品の特集はすべて住民活動を取り上げたものでした。実は私たちが広報担当者の力は微々たるもので、住民の皆さんの輝く姿や、活動への強い思いがあるからこそその賞なのです。だから広報うちこは、町民みんなで作っている広報紙。それが一番の強みだと思います。
みんなで作るという意味では、私たち広報担当者は、町を舞台に活躍する人たちにスポットライトを当てる照明係です。裏方の仕事ですが、舞台の上立つ人たちが輝けば輝くほど、私たちも誇りを持っています。紙面で紹介した、人口300人の小さな集落の30年の地域づくり活動、平均年齢80歳の5人のおばあちゃんを守り続けるふるさとの味など、一つ一つの活動に込められた思いが作品(記事)になって、町の人々の心に残れば、それがきつと未来の町や住民の皆さんの力になると信じてがんばっています。

だて市政だよりの特徴

伊達市政だよりのイチオシコーナーや特徴をご紹介します

1 表紙



一面に大きく写真を掲載し、毎号の特集や季節にあった表紙を心がけています。

2 特集



毎号4ページ以上の枠をとって、頑張ってる地域の話題や活動、知ってほしい市の事業、季節のイベントなど、その時々旬な情報を掘り下げてお届けしています。

3 各種コーナー

頑張る人を紹介する「まちのキラリ」など、読者が楽しめるコーナーを多数用意しています。



だて市政だよりは、合併して間もない平成18年1月25日に創刊号を発行しました。あれから17年目を迎えた令和4年9月22日発行の10月号で創刊200号を迎えました。
創刊以来、市民に愛される広報紙を目指し、市民と行政をつなぐ架け橋となるよう、改善を重ねてきました。創刊当初から紙面を編集するソフトを導入し、企画、デザイン、取材、撮影、編集など、印刷を除く作業の内製化を進めながら歩んできました。それは、取材を通して市民とつながること、取材者が自ら編集することで、その思いを詰め込むためです。
デジタル化による環境変化の中、広報紙という紙で届く情報は、紙ならではの温もりやめくる感触など、五感から伝わる「チカラ」があるのではないでしょうか。その紙のチカラを探ってみましょう。

Special Feature 特集2
だて市政だより 200号記念

紙
カミのチカラ

今月号でだて市政だよりが記念すべき200号を迎えました。デジタル化が進む中、紙で皆さんに届く広報紙。皆さんに行政情報や市民活動を伝える手段として、広報紙のもつチカラとは。

愛される広報紙を目指して



湯田 健一さん Yuda Kenichi

富成地域まちづくり振興会 会長
ばんかた市や富成芸術祭など地域の活性化に取り組んでいる

昨年、広報紙に取り上げてもらったページは、1年ほど経つとも交流館のロビーに貼って見ってもらっています。私たちが書いてくれて感謝しています。

取材依頼を受けた時、広報紙に載るかもと喜びました。実際に取材を受けた時も、とても感じが良く、小さなことでも拾ってくれるようで好印象でした。出来上がった紙面は、写真も文章も良く、地域



2021年11月号まちのキラリ
「富成地域まちづくり振興会」

2 広報紙に協力いただいた市民② 広報紙に載ることで 会の活動の信頼が増した

元気になる広報紙

でも好評でした。実際に紹介された花壇を見たいと連絡があったり、「見にきたよ」と声をかけてくれた方もいました。今でも「富成はがんばっているね」と言ってもらえるのも広報紙のおかげだと思います。地域の中には、富成の誇りになっているという人もいます。広報紙はがんばっている人が載っていることで、取り上げてもらったことで、私たちの活動が評価され、信頼が増したと思います。

広報紙の表紙はいつもインパクトを与えてくれます。季節に応じて伊達市の表情を瞬で捉えていて凝縮されています。だてなびなどの情報も読みやすく、参考になっています。次の300号に向けて今のような形で、みんなに愛されて、地域を引っ張る羅針盤のような存在であってほしいと願っています。いつも広報紙を見ると元気が出るし、いつも前向きな紙面作りがすてきです。



2022年4月号特集「千本桜物語」

2 広報紙に協力いただいた市民① 「広報紙を見た」と初めて訪れてくれた

松浦 健さん Matsuura Tsuyoshi

紅屋峠千本桜の会 会長 伊達市一の桜の名所を守り育てる活動をしている

花が咲く前に広報紙の特集で取り上げてもらえたことで、大きな宣伝効果があります。知名度が上がったと思います。地域の方々から、会のメンバーへ「大変だね」とねぎらいの言葉もあつたようですし、広報紙で顔が出たので、草刈りや手入れなど、手で

いい機会になった



を抜けないですね(笑)。9月上旬に草を刈り、ちょうど曼殊沙華が見ごろを迎えますので、桜だけではなくこちらも見てもらいたいです。

私たちの活動は、地区の人たちはわかっていてと思うけど、市民の多くはわからないことだと思うので、こういう活動があるのかと知ってもらい、いろいろな人とつながるいいきっかけになりました。広報紙で取り上げることで市内の中でも同じ活動をする人が増えたり、活動しようとしている人へつながってくれたらと思います。

私は広報紙の中で、ふる里再発見のコーナーが好きで楽しみにしています。知らない伊達市の歴史を知ることができて、とても勉強になります。ずっと前に取り上げていた路面電車の記事が好きでした。そのほかにも毎月表紙や特集も楽しみにしています。お知らせだけだと読みたくなないので、市民を取り上げ、特集も継続してほしいです。

松陽中学校から職場体験に来てくれた(左から)深谷さん、佐藤さん、高野さん、村松さんが広報紙ができるまでを体験。

6 発行

完成した広報紙は、毎月第4木曜日に配布しています。



5 校了

校正が終了したデータを印刷会社に送付し、カラーなどの最終確認をして、印刷します。



4 校正

編集した紙面を2回校正しています。全職員が校正できる環境で、多くの目を通して校正していきます。

3 編集

紙面を編集するソフトを使って、デザイン、レイアウトを進めて、文章と写真を流していきます。



2 取材

企画書に基づいて、取材先に連絡をして、許可を取ってから取材を行っていきます。

1 企画書の作成

発行の1カ月前にページの割付や特集の内容などを話し合って組み立てていきます。



だて市政だよりができるまで

「生き生きしている広報紙」



広報紙の読者 はがき えつこ 芳賀 悦子さん

新聞で伊達市の広報担当者の記事を見かけ、職員自ら文章を書いていることがうれしいと思いました。そんな時に届いた広報紙5月号の表紙を見て、天気と桜とモデルとなった中嶋さんの予定と、すべてがそろうのは一瞬だと思います。そのすべてがそろうなんてすばらしいと思います。ハガキで感謝の思いを伝えました。広報紙を通して笑顔になったり、癒される市民は多いと思います。

「だて市政だより」で
楽しみにしているコーナー

- 1** 表紙 **25票**
- 2** だてなび (主にイベントや定期的なお知らせ) **24票**
- 3** 特集 **20票**

楽しみにしているコーナーの得票数

表紙	25
特集	20
News Headline	14
だてなび	24
まちかど ZOOM UP	11
まちのキラリ	16
#幸せがじゅづつなぎになるリレートーク	7
#今月のいいないだて	7
Motto (市政情報の深掘り)	6
Kids Station・乳幼児検診	3
健康通信	8
暮らしのサポーター (消費生活)	4
教えて!あんばんさん (手話)	4
国際交流員の活動日誌	8
ふる里再発見 (歴史)	13
市長コラム	8

「だて市政だより」へ一言
(アンケートでいただいた声)

伊達市の魅力が伝わる市政だより、今後も楽しみにしています。

いつも充実した紙面をありがとうございます。これからも楽しみにしています。

表紙の写真も楽しみにしています。訴えることが伝わってきますよ!

読みやすいですが、どのくらい読んでいるのか。費用が無駄にならないように。

身近に感じなくなっている行政機関ですが、唯一ながっているのが広報紙!

その家にほしい情報が載っているので助かっています!

まちの人登場するページが多くて、いつもワクワクしながら読んでいます。

月1回の発行ですが、中身が濃いと思います。これからも期待します。

皆さん、温かなメッセージをありがとうございました。紙面だからその良さを生かして、情報や笑顔を届けます。

※メッセージの一部を抜粋して掲載しています。

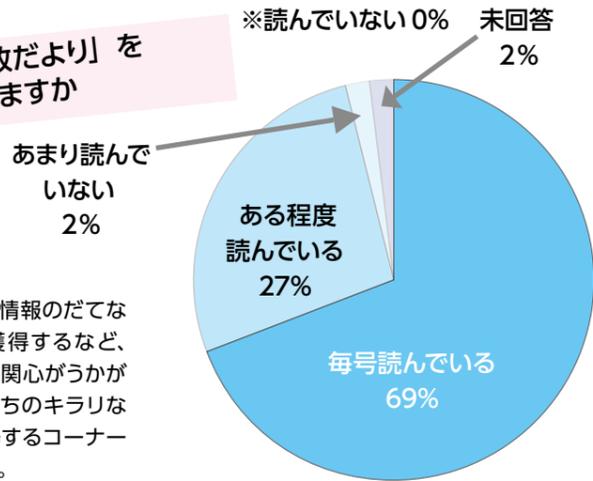
4 みんなで作る広報紙

読者の声

だて市政だより9月号で、初めて市民アンケートを行いました。その中から、読者の声をご紹介します。

回答数	52人
男	17人
女	32人
未回答	3人

「だて市政だより」を
読んでいますか



伝えたい行政情報のだてなびが2位を獲得するなど、行政情報への関心がうかがえ、表紙やまちのキラリなど市民が登場するコーナーの人気が高い。



伊達市の出来事など振り返りながら、広報紙を並べた。



広報紙制作の体験を終えて、感想などを語ってくれた。



3 職場体験
思いを伝える

8月24日は、松陽中学校の2年生4人が広報紙制作を体験。広報紙制作の思いを伝えた

体験すること

伊達市では、市内の中学生のインターシップなど、市役所業務の体験を受け入れています。8月24日は、松陽中学校2年生の4人が広報紙制作を体験。特集企画や編集業務、撮影方法など、広報紙を作る手順に沿って体験してもらいました。広報紙の表紙を撮影する時に、これまでの広報紙を並べるようお願いしたところ、中学生は興味津々。生まれる前にあった出来事や、知っている人を見つけたりと楽しみながら、199号分の広報紙をきれいに並べて撮影の準備をしてくれました。

職場体験を終えて



きれいな風景を
届けてほしい

松陽中学校 2年
ふかや 梨乃さん

自分で撮った写真を編集するのが好きなので、広報紙制作はわくわくする体験でした。普段は、スマートフォンのアプリやカメラ内の機能で編集するので、パソコンでの編集や本格的なカメラで撮影などの体験ができて楽しかったです。広報紙を読む機会はありませんでしたが、作るまですごく大変だなと思いました。家に届く広報紙を読んでみようと思います。毎月、広報紙で伊達市のきれいな風景を届けてほしいです。



穴場スポットなどを
紹介してほしい

松陽中学校 2年
むらまつ わかな 村松 和奏さん

広報紙制作の職場体験で、印刷会社で関係者以外が入れない場所で、見たことがない機械を見たり、これまで作ってきた広報紙199号すべてを並べて、写真を撮って表紙になるなんてあり得ないと思いました。広報紙を市役所内で作っているのを知らなくて、今回、体験できて良かったです。200号が家に届いたら見てみようと思います。これから広報紙で、穴場スポットなどみんなが知らない情報を紹介してほしいです。